

校長室だより No12

2018年1月15日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津健志

「歯は一生のともだち 仕上げ処理は3年まで」

今日は小正月、校長室の入り口と机の上は、用務員の長谷部さんによる正月の装飾がなされ、学校に季節感をかもし出してくれています。始業式にお正月の季語についてお話をしました。寒いこの時期に咲く花や実、天気のことなど、季節を親子で見つけてみるのも楽しいですね。



さて、1月12日に1年生と3年生で歯みがき指導をしました。

柏市保健所の地域健康づくり課から、歯科衛生士さんが3名来校し、それぞれ1時間ずつの授業をしてくださいました。

どこのクラスも話を聞く姿勢が大変よく、とても授業がしやすかったと感想をいただき、集中して取り組む姿勢が出来てきていることを感じます。

また、歯みがきや虫歯や歯の健康に関する興味関心も高く、いっしょうけんめいに学んだことを活かしていこうという姿が見られたとの感想もいただきました。歯の健康に対する意識はご家庭での指導が大きいと思います。それぞれのご家庭での習慣化が目に見える形で表れているものだと思います。

1年生も3年生も、歯の染め出しをしました。磨き残しが無いかどうかを確かめるものです。1年生は、かなりきれいだったようで、歯科衛生士さんも今年度一番の成績です、と喜んでくださるほどだったようです。しかし、年齢が上がる3年生では、磨き残しがかなり多い子供たちが目立ったようでした。

子供が歯みがきをしたあとで、親が仕上げに、磨きにくい場所やブラシが当たりにくい場所を教えながら行う「仕上げ処理」を、できれば3年生ぐらいまで行って欲しいと歯科衛生士さんからお話がありました。

「3年生まで?!」と思う方もいらっしゃると思います。子供もだんだん大人になってきますから、恥ずかしがる子供もいることでしょう。

歯みがき指導の学習で、3年生の子供たちは、人間の歯は一度だけ生え変わるけど、その後は一生使うことを学んでいました。何度も生え変わる動物もいるのですが、人間は一回だけ。人生100歳時代と言われているので、3年生の頃までに生えそろうた永久歯は90年間も大切に使わなければなりません。磨き方の感覚を身に着けるためにも、仕上げ処理に手間をかけてあげて欲しいと思います。私も、年に数回、予防歯科で歯医者さんに行く際、歯垢や歯石の処理をしてもらいながら、歯みがきの仕方を反省しています。美味しく食事ができて、健康を保つために、歯を大切にすることを全校で身に着けていきたいと思っています。4年生以上の子供たちにも、食後の歯磨き習慣を徹底させていきたいところです。

平成29年度の虫歯になっている子供の割合は25%です。そのうち、12月末までに治療が完了している割合は47%です。歯ブラシも歯磨き粉も進化して、虫歯になりにくい環境が整ってきています。あとは早く治して、きちんとした習慣化が大切ですね。

